

リスクモンスター株式会社

(東証第二部 : 3768)

2021年3月期 決算補足資料



2021年5月19日

1. 2021年3月期 重点施策・取り組み (P.2)	12. 企業理念と長期ビジョン (P.18)
2. 決算サマリー (P.3)	13. 『第7次中期経営計画(2021年～2023年度)』全体的な基本方針 (P.19)
3. 業績推移(四半期) (P.4)	14. 『第7次中期経営計画(2021年～2023年度)』事業別の基本方針 (P.20)
4. ビジネス分類別 業績 (P.5)	15. リスクモンスターグループのビジネスモデル (P.21)
(1) 法人会員向けビジネス 業績 (P.6)	16. 株主のための施策 ① (P.22)
(1) 法人会員向けビジネス ①与信管理サービス 業績 (P.7)	17. 株主のための施策 ② (P.23)
(1) 法人会員向けビジネス ②ビジネスポータルサイト 業績 (P.8)	18. 株主のための施策 ③ (P.24)
(1) 法人会員向けビジネス ③教育関連 業績 (P.9)	IRに関するお問合せ (P.25)
(2) その他ビジネス ④BPOサービスを含むその他ビジネス 業績 (P.10)	【補足】『リスクモンスター見舞金共済』のご紹介 (P.26)
5. 会員数推移(四半期) (P.11)	【補足】e-与信ナビ『反社ヒートマップ(ベータ版)』のご紹介 (P.27)
6. 連結貸借対照表 (P.12)	【補足】『決算書分析システム』新機能のご紹介 (P.28)
7. 連結キャッシュ・フロー (P.13)	【補足】『AppSuite(アップスイート)』のご紹介 (P.29)
8. 2022年3月期 業績予想 (P.14)	【補足】『J-MOTTOグループウェア SAML認証対応』のご紹介 (P.30)
9. 新型コロナウイルス感染症を踏まえた事業別の見通し (P.15)	【補足】創業20周年記念 特設サイト開設 サービスサイトリニューアル(P.31)
10. RM財務格付による財務分析 ① (P.16)	
11. RM財務格付による財務分析 ② (P.17)	



1. 2021年3月期 重点施策・取り組み



リリース

リスモン調べ

業界レポート

1Q

- ▶ 中国企業信用調査サービス「RM中国企業情報ナビ」の調査項目を強化「新型コロナウイルスの影響」に関する調査を追加(4月)
- ▶ 「リスクモンスター見舞金共済」の支払限度額を3倍の90万円に拡大(4月)
- ▶ J-MOTTOグループウェアオプションサービス「AppSuite(アプスイート)」提供開始(4月)
- ▶ 中国企業信用調査サービス「RM中国企業情報ナビ」に「与信限度額」を追加(6月)
- ▶ e-与信ナビ「反社ヒートマップ(ベータ版)」提供開始(6月)
- ▶ 前連結会計年度より3円増配、1株当たり20円の配当実施(6月)
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化、または想定以上に深刻化した場合の不測の事態に備えるため、手元流動性確保を目的とし、取引銀行3行とコミットメントライン契約締結(6月)

調査結果 発表

- ▶ 「新型コロナウイルスによる影響アンケート」(4月、5月)
- ▶ 「仕事・会社に対する満足度」(5月)

リスモン調べ 動画

- ▶ 「新型コロナウイルスによる影響アンケート」(4月)
- ▶ 「上場企業が倒産する理由は？」(5月)

- ▶ 洗濯・理容・美容・浴場業(4月)
- ▶ 宿泊業(5月)

2Q

- ▶ 譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を実施(7月)
- ▶ eラーニング 提供開始したシリーズ、コース(7月)
 - ・「情報処理入門講座」シリーズ 4コース
 - ・ビジネス英会話、社会人基礎力などの分割バージョン 165コース
 - ・仕事の基本・ルールを短時間で学べる 5コース
 - ・「明日から使える英会話」シリーズ 15コース
 - ・公開研修の講師出演動画 eラーニングシリーズ 14コース
- ▶ 書籍「リスクはじきに目を覚ます」(第3版) 出版(8月)
- ▶ 「決算書AI-OCR」を用いて「決算書分析システム」を自動登録する機能を追加(9月)
- ▶ eラーニング 提供開始したシリーズ、コース(9月)
 - ・「知って役立つ！チーム・ファシリテーション講座」
 - ・「ポータブルスキル講座」
 - ・「Microsoft Office 2016」シリーズ 6コース
 - ・「ビジネス実務と信管理検定試験3級 繰り返しトレーニング」

調査結果 発表

- ▶ 「この企業に勤める人と結婚したいランキング」(7月)
- ▶ 「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」(7月)
- ▶ 「新型コロナウイルス関連倒産分析レポート」(7月)
- ▶ 「金持ち企業ランキング」(8月)
- ▶ 「若手社員の仕事・会社に対する満足度」(9月)
- ▶ 「特別定額給付金の使い道アンケート」(9月)

リスモン調べ 動画

- ▶ 「特別定額給付金の使い道」(9月)

- ▶ 電子部品・デバイス・電子回路製造業(8月)
- ▶ 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業(8月)
- ▶ 窯業・土石製品製造業(8月)
- ▶ 職業紹介・労働者派遣業(9月)
- ▶ 情報通信機械器具製造業(9月)

3Q

- ▶ 信用調査会社である株式会社ティタンと業務提携し、個人信用調査と裁判情報を提供開始(10月)
- ▶ テレワーク推進に伴う本社リニューアル(10月)
- ▶ 創業20周年記念特設サイト開設及び独自データベースを活用したサービスサイトのリニューアル(12月)
- ▶ eラーニング 提供開始したシリーズ、コース(10月、12月)
 - ・「テレワークで大活躍！Web会議を効率的に運用する活用術講座」
 - ・公開研修の講師出演動画 eラーニングシリーズ 11コース
 - ・「サステナビリティ経営とSDGs入門講座」等 14コース
 - ・「知って役立つ！主体性アップ講座」
 - ・「技術者のためのビジネス講座」等 16コース

調査結果 発表

- ▶ 「Go Toトラベルキャンペーンの実態」(10月)
- ▶ 「隣の芝生(企業)は青い」(10月)
- ▶ 「女性の働き方に対する意識」(10月)
- ▶ 「一緒に働きたい・働きたくない有名人」(11月)
- ▶ 「Go To Eatキャンペーンの実態」(12月)
- ▶ 「年末年始休暇の延長施策に関する意識」(12月)
- ▶ 「企業の取引リスクに対する意識」(12月)
- ▶ 「新時代の働き方 ダブルワークの実態」(12月)
- ▶ 「休日の過ごし方調査 新時代の変化」(12月)
- ▶ 「大学1、2年生が就職したいと思う企業・業種ランキング」(12月)

リスモン調べ 動画

- ▶ 「Go Toトラベルキャンペーンの実態」(10月)
- ▶ 「女性の働き方に関する意識調査」(10月)
- ▶ 「一緒に働きたい・働きたくない有名人ランキング」(11月)
- ▶ 「Go To Eatキャンペーンの実態」(12月)
- ▶ 「年末年始休暇の延長施策に関する意識調査」(12月)
- ▶ 「新時代の働き方 ダブルワークの実態」(12月)
- ▶ 「休日の過ごし方は変わったのか？新時代の変化」(12月)

- ▶ 物品賃貸業(11月)
- ▶ 食料品製造業(12月)
- ▶ プラスチック製品製造業(12月)

4Q

- ▶ 創立20周年記念株主優待実施及び株主優待制度の変更を決定(2月)
- ▶ 2021年4月1日を効力発生日として当社普通株式1株につき2株の割合をもって分割することを決定(2月)
- ▶ J-MOTTOグループウェアSAML認証によるシングルサインオンに対応(3月)
- ▶ eラーニング 提供開始したシリーズ、コース(3月)
 - ・「知って役立つ！OODAループ講座」
 - ・「LGBT講座」「組織的なCS対応」等 23コース
 - ・eラーニング本編の分割バージョン 1508コース
 - ・「中国における与信管理シリーズ」3コース
 - ・公開研修の講師出演動画 eラーニングシリーズ 11コース

調査結果 発表

- ▶ 「日米新旧リーダー理想の上司」(1月)
- ▶ 「電子マネーの利用実態調査」(1月)
- ▶ 「金持ち企業ランキング 特別版(中間決算)」(1月)
- ▶ 「社会人の転職事情アンケート」(2月)
- ▶ 「離婚したくなる亭主の仕事」(2月)
- ▶ 「お金が貯まる人のライフスタイルアンケート」(2月)
- ▶ 「緊急事態宣言に関するアンケート」(3月)
- ▶ 「新型コロナウイルスによる影響アンケート」(3月)

リスモン調べ 動画

- ▶ 「日米リーダー対決 理想の上司」(1月)
- ▶ 「電子マネーの利用実態」(1月)
- ▶ 「社会人の転職事情アンケート」(2月)
- ▶ 「お金が貯まる人のライフスタイルアンケート」(2月)
- ▶ 「緊急事態宣言に伴う2020年度の企業リスク調査」(3月)
- ▶ 「緊急事態宣言に関する意識調査」(3月)
- ▶ 「令和の夫婦仲実態調査」(3月)

- ▶ 繊維工業(1月)
- ▶ 機械器具小売業(1月)
- ▶ 織物・衣服・身の回り品小売業(2月)
- ▶ 印刷・同関連業(2月)
- ▶ 広告業(3月)

	2020年3月期	2021年3月期	増 減	前期比
売上高	3,150,052 千円	3,551,134 千円	401,081 千円	112.7 %
営業利益	507,088 千円	654,867 千円	147,778 千円	129.1 %
経常利益	547,983 千円	672,713 千円	124,730 千円	122.8 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	305,885 千円	427,750 千円	121,864 千円	139.8 %
1株当たり当期純利益(EPS) ^(注)	40.42 円	57.47 円	17.05 円	142.2 %
会員数	13,002 ID	13,707 ID	705 ID	105.4 %
自己資本当期純利益率(ROE)	6.8 %	8.7 %	1.9 ポイント	127.9 %

(注) 当社は、2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。前期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

◆ 売上高

法人会員ビジネスの与信管理サービス事業、ビジネスポータルサイト事業、教育関連事業が順調に推移しました。また、BPOサービス事業は第2四半期以降は、反社チェックサービス等の大型スポット案件を受注したため、前期を大きく上回りました。

◆ 利益

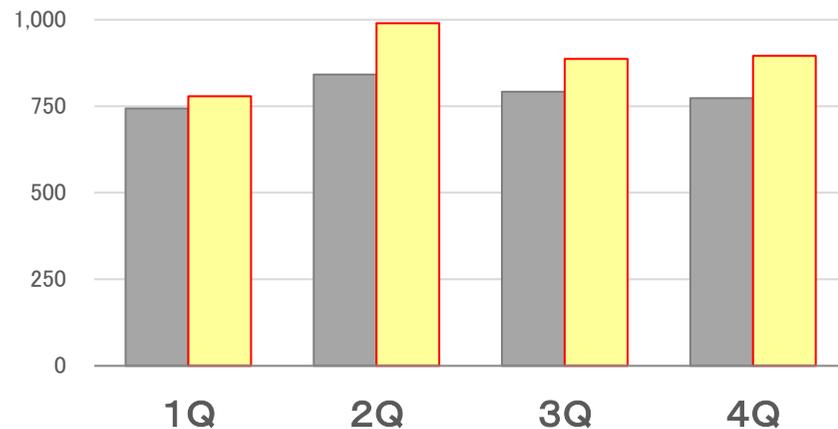
会員企業に対する創業20周年キャンペーンのマーケティング費用及びテレワーク推進に伴う本社リニューアル関連費用が発生したものの、利益率の高いサービスの売上高が増加したことや、BPOサービス事業が黒字化したこと等により、増益となりました。

(単位：千円)

2021年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	778,969	989,833	886,705	895,626
営業利益	130,414	308,285	131,311	84,856
2020年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	743,633	841,678	791,624	773,116
営業利益	103,588	188,417	124,976	90,105

売上高

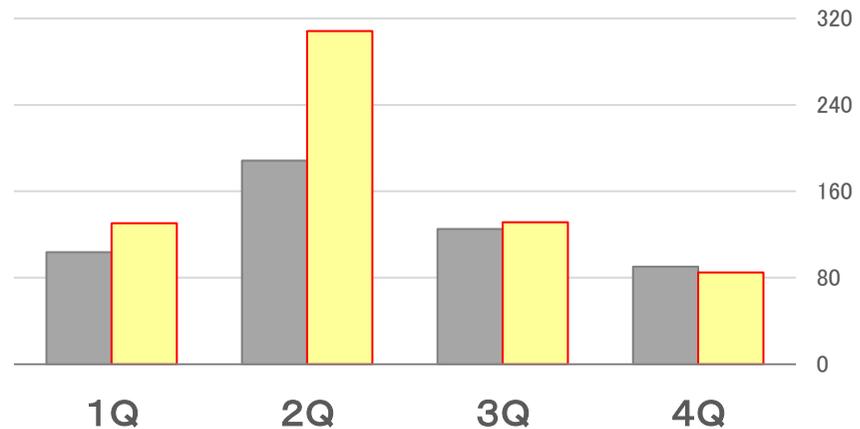
(単位：百万円)



■ 2020年3月期 ■ 2021年3月期

営業利益

(単位：百万円)



■ 2020年3月期 ■ 2021年3月期

リスクモンスターグループ ビジネスモデル



(単位 : 千円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減額	前期比
(1) 法人会員向けビジネス	2,773,552	3,038,827	265,275	109.6%
(2) その他ビジネス	559,712	766,227	206,514	136.9%
売上高 計	3,333,265	3,805,055	471,789	114.2%
(1) 法人会員向けビジネス	582,930	638,596	55,666	109.5%
(2) その他ビジネス	8,109	97,622	89,512	1,203.7%
利益 計	591,040	736,219	145,179	124.6%

(注) 売上高はサービス間取引消去前の売上高で記載

リスクモンスターグループ ビジネスモデル



(単位 : 千円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減額	前期比
①与信管理サービス	2,044,021	2,205,409	161,388	107.9%
②ビジネスポータルサイト	533,687	555,769	22,082	104.1%
③教育関連	195,844	277,648	81,804	141.8%
法人会員向けビジネス売上高計	2,773,552	3,038,827	265,275	109.6%
①与信管理サービス	377,401	393,964	16,563	104.4%
②ビジネスポータルサイト	148,255	155,884	7,628	105.1%
③教育関連	57,272	88,748	31,475	155.0%
法人会員向けビジネス利益計	582,930	638,596	55,666	109.5%

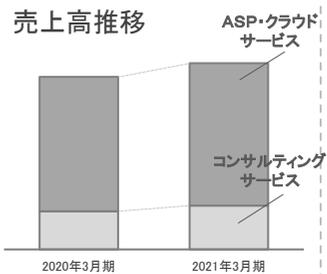
会員数 (ID)	12,369	13,154	785	106.3%
-----------------	--------	--------	-----	--------

(単位 : 千円)

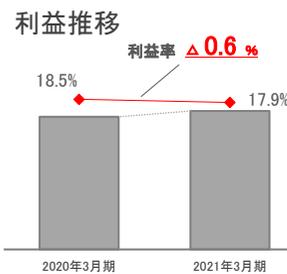
	2020年3月期	2021年3月期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス	1,592,040	1,687,292	95,251	106.0%
コンサルティングサービス	451,980	518,117	66,136	114.6%
売上高 計	2,044,021	2,205,409	161,388	107.9%
利益	377,401	393,964	16,563	104.4%
利益率	18.5%	17.9%	△0.6 ポイント	—
会員数 (ID) (注)	6,527	6,798	271	104.2%

(注) サービス相互連携を行う提携会員を含む

売上高推移



利益推移



会員数推移



◆ 売上高

主力の与信管理サービス事業につきましては、第1四半期会計期間はほぼ前年同期並みだったものの、第2四半期会計期間以降は順調に推移しました。利益率の高いASP・クラウドサービスは、会員数が増加し定額の利用料が積み上がったことに加え、従量制サービスの利用が順調だったことに伴い、前期を上回りました。コンサルティングサービスは、ポートフォリオサービス及びマーケティングサービスの売上高が順調に推移したことに加え、第2四半期会計期間以降は反社チェックサービス及び取引先のモニタリングサービスが好調だったため、前期を上回りました。

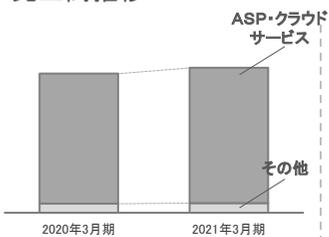
◆ 利益

創業20周年キャンペーンのマーケティング費用及びテレワーク推進に伴う本社リニューアル関連費用、また、独自データベースを活用したサービスサイトリニューアル費用が発生したものの、売上高が増加したこと等により、前期を上回りました。

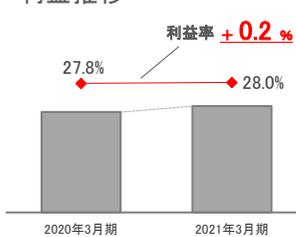
(単位：千円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス	498,775	518,783	20,007	104.0%
その他	34,912	36,986	2,074	105.9%
売上高 計	533,687	555,769	22,082	104.1%
利益	148,255	155,884	7,628	105.1%
利益率	27.8%	28.0%	0.2 ポイント	—
会員数 (ID)	3,228	3,185	△43	98.7%
ユーザー数	142,995	145,416	2,421	101.7%

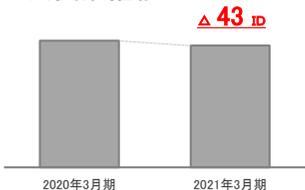
売上高推移



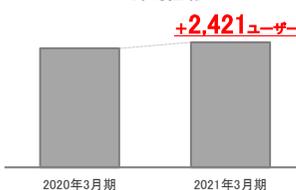
利益推移



会員数推移



ユーザー数推移



◆ 売上高

会員数は微減となりましたが、ユーザー数や顧客の在宅勤務の増加等により、ディスク容量の超過料やオプションサービスの利用料が増加したため、売上高は前期に比べ増加しました。

◆ 利益

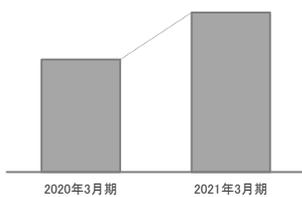
サービスシステムのパブリッククラウドへの移行により固定費が減少したこと等により、前期を上回りました。

(単位：千円)

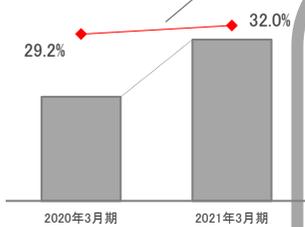
	2020年3月期	2021年3月期	増減額	前期比
売上高 計	195,844	277,648	81,804	141.8%
利益	57,272	88,748	31,475	155.0%
利益率	29.2%	32.0%	2.8ポイント	—
会員数(ID) (注)	2,614	3,171	557	121.3%

(注) 定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」を利用できる会員の合計

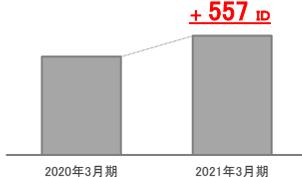
売上高推移



利益推移



会員数推移



◆ 売上高

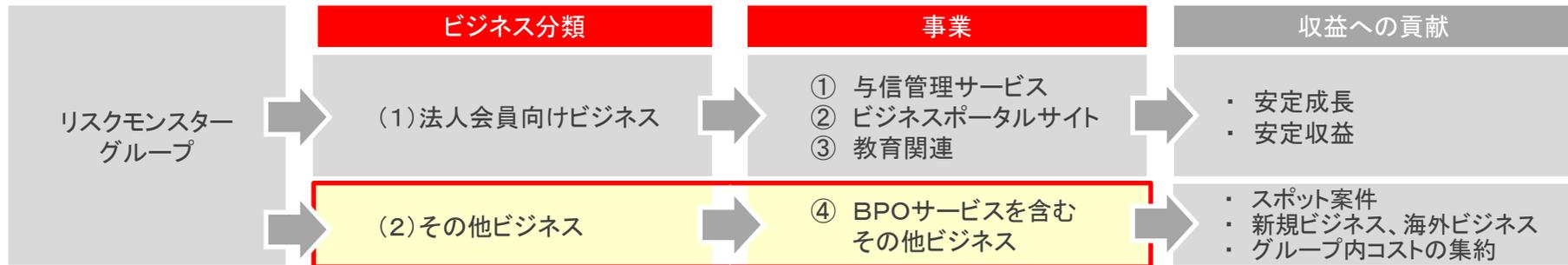
第1四半期会計期間は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、集合型研修の代替として新入社員を対象とした講座を中心にeラーニングサービスの利用が大きく増加しました。第2四半期会計期間以降は、お客様のニーズに合わせたカスタマイズサービスが好調に推移しました。

加えて、定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」の会員数が増加し、定額の利用料が積み上がったため、全体では売上高が好調に推移しました。

◆ 利益

売上高増加が寄与し、前期を大きく上回りました。

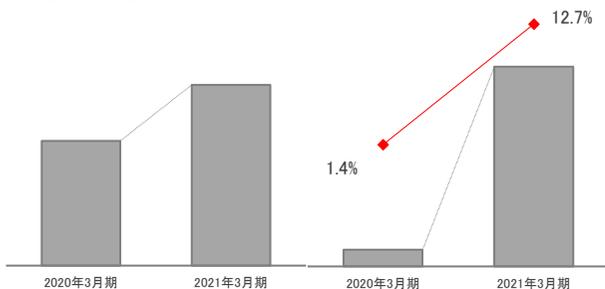
リスクモンスターグループ ビジネスモデル



(単位：千円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減額	前期比
その他ビジネス売上高計	559,712	766,227	206,514	136.9%
その他ビジネス利益計	8,109	97,622	89,512	1,203.7%
利益率	1.4%	12.7%	11.3ポイント	—

売上高推移



◆ 売上高

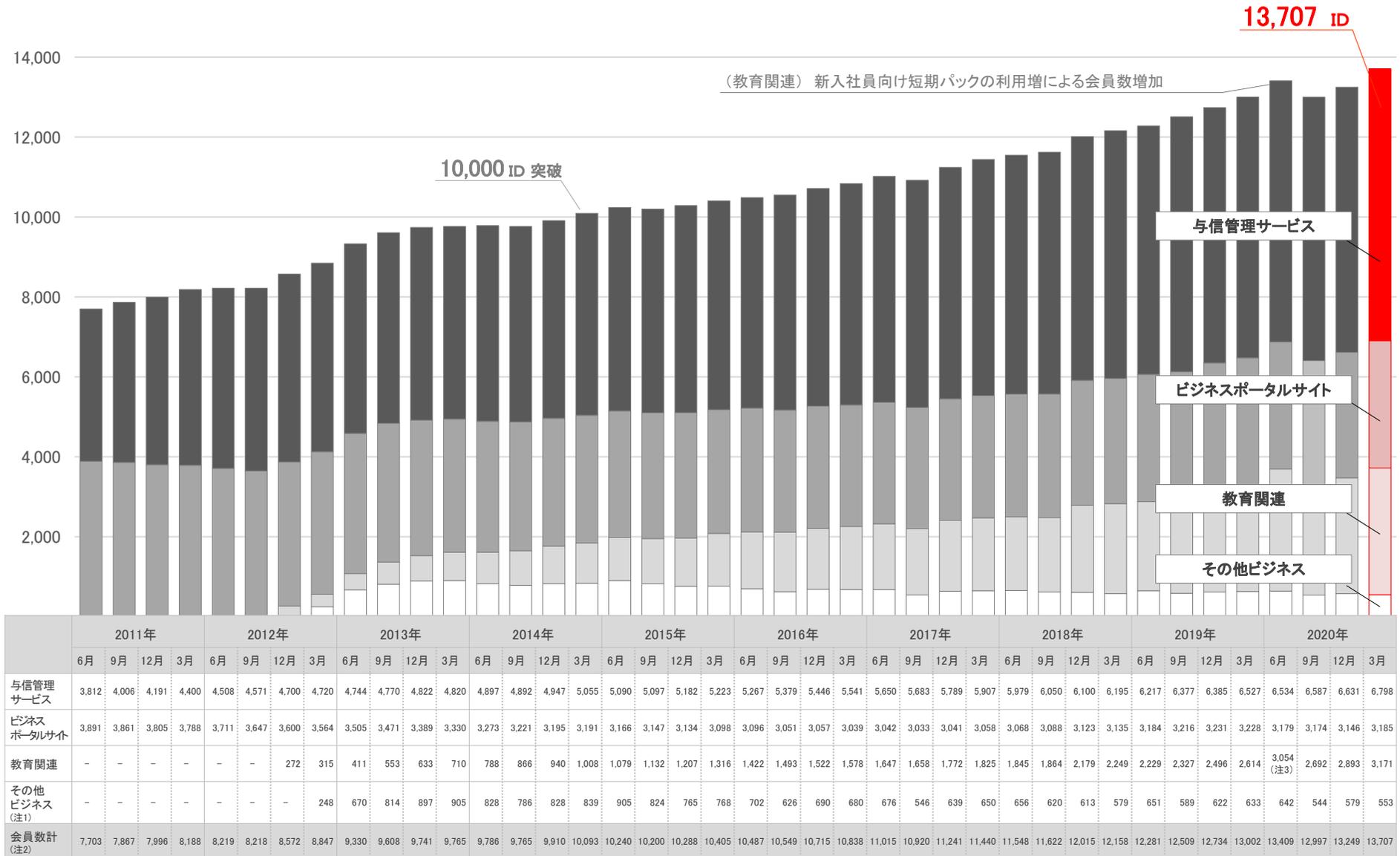
BPOサービス事業は、イベントやレジャー自粛等の影響を受け、これらに係わる一部の案件の処理件数が減少したものの、第1四半期会計期間はコールセンターのインバウンド業務等が伸長しました。また、第2四半期会計期間以降は、反社チェックサービス等の大型スポット案件を受注したため、売上高が増加しました。当社グループの海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)は、中国における信用調査レポートの需要が伸び、前期を上回りました。

◆ 利益

中国においてサービス提供強化のための人件費増加とサーバー設備増強による費用が発生したものの、BPOサービス事業が黒字化したことにより、前期を上回りました。

5. 会員数推移(四半期)

(単位 : ID)



(注1) 中国における与信管理及びグループウェアサービス等を利用できる会員

(注3) 新入社員向け短期パックの利用増による会員数増加

(注2) 重複登録している会員を含む

(単位：千円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減額	前期比
流動資産	2,574,739	3,083,079	508,339	119.7%
固定資産	2,960,219	3,575,328	615,108	120.8%
資産合計	5,534,958	6,658,407	1,123,448	120.3%
流動負債	514,646	819,955	305,308	159.3%
固定負債	387,947	438,285	50,338	113.0%
負債合計	902,593	1,258,240	355,646	139.4%
純資産	4,632,365	5,400,167	767,801	116.6%
負債・純資産合計	5,534,958	6,658,407	1,123,448	120.3%

自己資本比率	82.1%	79.6%	—	—
1株当たり純資産(BPS) ^(注)	613.29円	710.75円	97.46円	115.9%

(注) 当社は、2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。前期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

自己資本比率は79.6%と高水準を維持しております。

(単位：千円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減額	前期比
営業活動	710,944	1,053,372	342,427	148.2%
投資活動	△467,578	△441,790	25,788	94.5%
財務活動	△372,970	△136,929	236,040	36.7%
現金に係る換算差額	△2,742	1,480	4,222	—
現金増減額	△132,346	476,133	608,479	—
現金期末残高	1,967,596	2,443,729	476,133	124.2%

◆ 営業活動

税金等調整前当期純利益	645,055
減価償却費	358,431
未払金の増加額	124,002
法人税等の支払額	△134,806

◆ 投資活動

有形固定資産の取得による支出	△69,633
無形固定資産の取得による支出	△422,979

◆ 財務活動

配当金の支払額	△74,086
長期借入金の返済による支出	△60,160

(単位：百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	増減額	前期比
売上高	3,551	3,550	△1	100.0%
営業利益	654	655	0	100.0%
経常利益	672	675	2	100.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	427	430	2	100.5%
1株当たり当期純利益(EPS) ^(注)	57.47円	57.67円	0.20円	100.3%

(注) 当社は、2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり当期純利益」につきまして、2021年3月期実績は前期の期首に当該株式分割が行われたとして算出しております。また、2022年3月期予想は、当該株式分割後の株式数により算定しております。

世界的に広がる新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、今後の世界経済の先行きは不透明な状況です。日本経済につきましても、外出自粛等の経済活動の制限により経済の停滞が続いておりますが、2022年3月期中には、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種率が高まり、緩やかに回復していくことを前提にしております。また、当社の売上の79.9%は法人会員向けビジネスとなっており、下振れリスクが比較的低いことを前提に考えております。

※ なお、この業績予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後、新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴う市場環境の変化等により業績予想の修正を行う必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。新型コロナウイルス感染症に対するリスクを踏まえた事業別の見通しは次頁をご参照ください。

与信管理サービス事業

- ・倒産件数の増加に対する警戒感が高まり、企業における与信管理のニーズも増えております。
- ・より明確でわかりやすい判断指標による取引先モニタリングの需要や、テレワークの普及により、直接、接することができないお客様の取引先に関する反社チェックの重要性もますます高まっております。
- ・当社独自データベースを活用したサービスの拡充、DX化支援サービス強化、当社が提供する低格付のモニタリング登録企業の倒産が支払いの対象となる「見舞金共済サービス」等の債権保全サービスが増加するものと見込まれます。
- ・テレワークの普及など急速な社会情勢の変化に即した与信管理ルールの見直しや、ワークフローとの連携を提案していきます。
- ・景気の低迷が長期間にわたって継続する場合には、大幅な業績悪化に伴うコスト削減により、ポートフォリオサービスの減少や、一時的に退会数が増加することも考えられます。

ビジネスポータルサイト事業

- ・テレワークの普及等により、社内の情報共有ツールとしてのニーズが高まり、登録ユーザー数の増加やディスク容量の超過料及びオプションサービスの利用料の増加が期待されます。
- ・今後はさらにお試し利用から有料利用への施策を強化し、売上増加を図ります。
- ・感染症拡大の影響を受けている会員様については、登録ユーザー数縮小の動きも生じております。
- ・小規模企業の会員も多いことから、企業におけるコスト削減の煽りを受け、会員の退会数は増加傾向と予想されます。

教育関連事業

- ・お客様独自の教育コンテンツやWEBを活用した対面型セミナーが増えており、eラーニングサービスのニーズは堅調に推移すると見込まれます。
- ・引き続き需要が見込まれる講座を中心に、コンテンツの充実化やWEBセミナーの推進を図ってまいります。
- ・景気の低迷が長期間にわたって継続する場合には、大幅な業績悪化に伴うコスト削減により、企業における社員教育への意欲が低下し、退会数も増加する恐れがあります。

BPOサービス事業

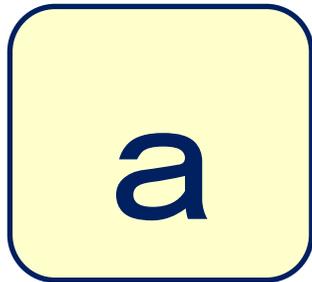
- ・イベントやレジャー自粛の影響を受け、これらに係わる案件や処理件数が減少しております。
- ・テレワークの普及等に伴い、企業内の業務フローの見直しによる紙媒体のデータ化やアウトソーシング需要は高まっており、今後も継続的に提案してまいります。
- ・グループ連携を強化し、2021年3月期の大型スポット案件の代替となるよう、好調な反社チェックサービス等を積極的に展開してまいります。

海外事業

- ・当社グループの海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務情報諮詢有限公司(リスクモンスターチャイナ)は、中国国内の経済活動は平常時に戻っており、お客様である日系企業会員向けの信用調査レポートの需要、与信管理規定コンサルティング等も引き続き堅調に推移することが見込まれます。

リスクモンスターグループ の評価 (東証第二部:3768)

【RM財務格付】
2021年3月期



【RM財務格付定義】

- a格 財務内容は非常に良好です。
- b格 財務内容は良好です。
- c格 財務内容は概ね良好です。
- d格 財務内容に若干の懸念があります。
- e格 財務内容に懸念があります。
- f格 財務内容に大きな懸念があります。

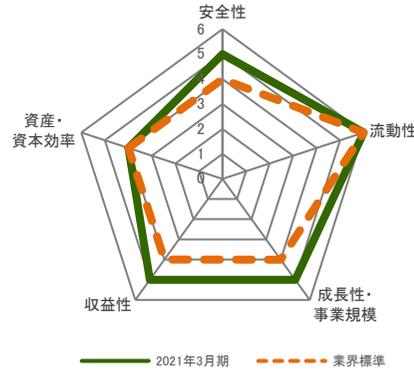
【想定倒産確率】

- a格 … 0.1%
- b格 … 0.5%
- c格 … 1.0%
- d格 … 2.0%
- e格 … 3.0%
- f格 … 6.0%

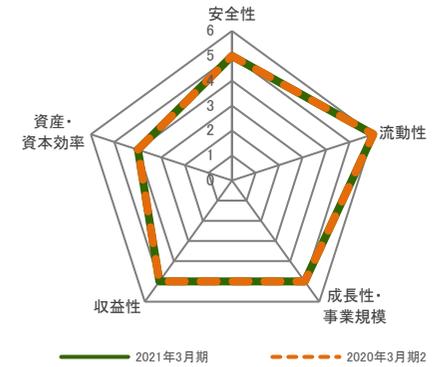
【RM財務格付履歴】

2021年3月期	2020年3月期	2019年3月期	2018年3月期
a	a	a	a
2017年3月期	2016年3月期	2015年3月期	2014年3月期
a	a	a	a
2013年3月期	2012年3月期	2011年3月期	2010年3月期
a	a	a	a

レーダーチャート(業界標準比較)



レーダーチャート(過去データ比較)



安全性	2021年3月期	☆☆☆☆☆
	2020年3月期	☆☆☆☆☆
自己資本比率		☆☆☆☆☆
実質自己資本比率		☆☆☆☆☆
借入金利率		☆☆☆☆
借入返済年数		☆☆☆☆☆
収益性	2021年3月期	☆☆☆☆☆
	2020年3月期	☆☆☆☆☆
売上高経常利益率		☆☆☆☆☆
経常収支比率		☆☆☆☆☆
ROA(総資産利益率)		☆☆☆☆
資産・資本効率	2021年3月期	☆☆☆☆
	2020年3月期	☆☆☆☆
売掛債権回転期間		☆☆☆☆
棚卸資産回転期間		☆☆☆☆☆
総資産回転率		☆☆

流動性	2021年3月期	☆☆☆☆☆☆
	2020年3月期	☆☆☆☆☆☆
流動比率		☆☆☆☆☆☆
当座比率		☆☆☆☆☆☆
現預金回転期間		☆☆☆☆☆☆
手形割引率		
成長性・事業規模	2021年3月期	☆☆☆☆☆
	2020年3月期	☆☆☆☆☆
売上高増減率		☆☆☆☆
売上高規模		☆☆☆☆
経常利益増減率		☆☆☆☆☆☆

※実質自己資本比率とは、資産のうち不良性の恐れのある金額を自己資本から控除した上で算出した自己資本比率です。

※☆☆☆☆☆(良い)~★(悪い)にて表示しています。
★が表示されない項目は、評価対象外です。
評価対象外となることで、コメントが表示されない場合があります。

総合評価	財政面および収支面は良好で、高い支払能力を有しているため、不安はありません。
安全性	資本蓄積は十分な水準にあり、借入償還能力も高い状態であるため、安定性の高い資金繰りが見込まれます。
流動性	十分な当座資産を有しており、高い決済能力を有しています。
収益性	利益効率が良好であり、事業による現金創出力を有しているため、高い収益力を有しているといえます。
成長性・事業規模	一定水準の売上規模を有しており、収益力も向上しているため、相応の収益基盤を有しているといえます。
資産・資本効率	資産効率がやや低水準にあるものの、資産内容は概ね健全であるため、大きな不安はありません。

当社グループの2021年3月期連結決算におけるRM財務格付は、a~fの6段階中、最高位の「a」となった。その分析内容に関する所見は、以下のとおりである。

【貸借対照表】

グループ連結の財政状態については、固定資産の増加により自己資本比率は前年度82.1%から79.6%へと2.5ポイント低下したものの、利益剰余金は353百万円積み増しており、引き続き非常に高い安全性水準を維持している。

流動性に関しては、流動負債の増加によって流動比率376.0%および当座比率366.9%は前期の水準から大幅な低下となったものの、その水準としては依然として高く、現預金残高2,544百万円は月商の8.6か月分に相当する点を考慮すれば、十分な資金繰り余力を有しているといえる。

総じて、高い支払能力を有しており、特段の懸念もない財政状態と思料される。また、当期にはコミットメントライン契約を締結し、運転資金の手元流動性の確保に努めており、財務基盤は堅実であるといえる。

【損益計算書】

連結売上高においては、前年度比112.7%となり、5期連続での増収推移となった。これは、主力サービスである与信管理サービス事業において反社チェックサービスの大型スポット案件を受注したことで売上高が107.9%の増収推移となったほか、BPOサービス事業で150.2%、教育関連事業で141.8%など、各事業においてそれぞれ増収推移となったことが要因である。本業を中心に堅調に推移しており、グループ全体としては安定的な推移を保っているといえる。

利益面においては、連結決算の粗利率は前年度54.9%から56.6%に上昇したことで、売上高営業利益率18.4%(2.3ポイント上昇)、売上高経常利益率18.9%(1.5ポイント上昇)、売上高当期純利益率12.0%(2.3ポイント上昇)と各利益段階において前期を超える利益率を確保し、増益基調での推移を続けている。収益効率は非常に高い水準にあり、当社グループの売上の79.9%が法人会員向けビジネスであり、業績の下振れリスクが低いこと考慮すれば、今後も引き続き利益確保に懸念は少ないものと考えられる。

リスクモンスター企業理念



顧客を大切にして共に繁栄しよう
プロフェッショナリズムを繁栄の源泉にしよう

2021年度～2025年度 長期ビジョン

RismonG-30

キーメッセージ

新しいスタンダードを提供する

社会に有用な付加価値のある信頼されるサービスを提供

信用を判断するだけでなく信用を生み出す

公正で安心できる仕組み作りの役割を担う

「第7次 中期経営計画(2021年～2023年度)」策定

積極的に付加価値を高める投資を行う。ROE 7%以上 を持続させる。

① 事業規模

既存事業の安定的な成長に加えて国内外の事業投資を拡大し、安定的な事業規模を目指す。

② 新規事業投資 業務提携

シナジー効果があり、プロフェッショナルなノウハウと顧客基盤を持つ企業を対象とし、長期的なビジネスパートナーとしての関係構築を目的に、アップセル・クロスセルにつながる投資、付加価値を高める投資を、積極的に実行する。

③ 株主還元

配当性向30%を目標とし、継続的かつ安定的な配当を目指す。

※ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化、または想定以上に深刻化した場合に備え、継続的かつ安定的な配当の実施を優先したうえで、不測の事態に備えるため、十分な手許現金の確保や内部留保も検討してまいります。

与信管理サービス事業



- 独自データベースを活用したサービスの強化
- 独自データベースを活用したDX化支援サービス
- サブスク化等積極的な価格戦略
- 更なるAIの活用
- スマホアプリの強化

BPOサービス事業



- VERIFY機能を向上
- 反社チェックサービス強化
- AIを活用したサービスの強化
- 新たな海外センター構築
- グループサービスとの連携強化

教育関連事業



- コンテンツ数アップと質の向上
- フリーランスの講師の活用と質の向上
- 受講生からのフィードバックを積極的に反映

海外事業(中国(上海))



- 中国独自サービスの継続的開発
- グループ連携強化
- オフショア開発の品質向上

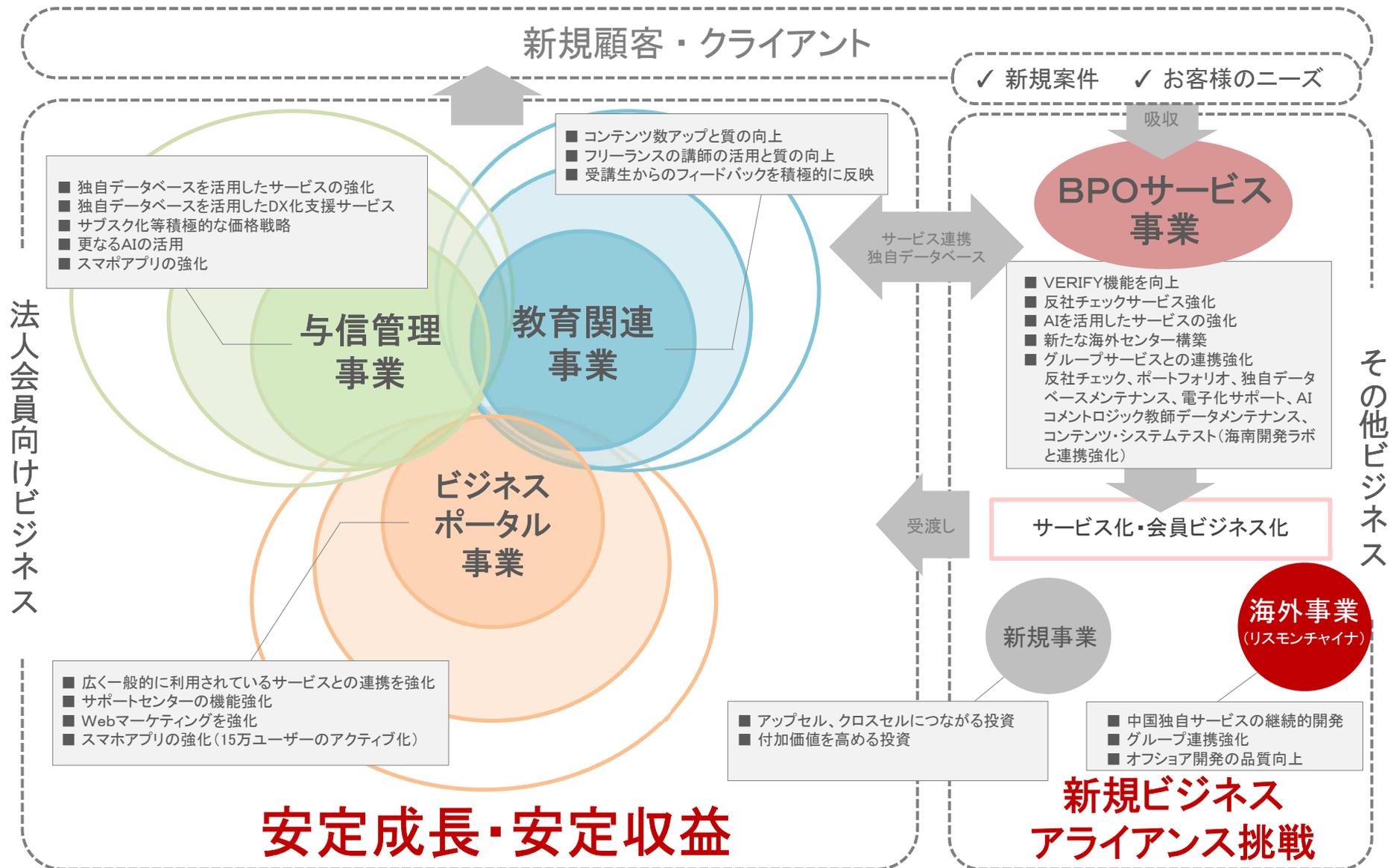
ビジネスポータルサイト事業



- 広く一般的に利用されているサービスとの連携を強化
- サポートセンターの機能強化
- Webマーケティングを強化
- スマホアプリの強化(15万ユーザーのアクティブ化)

新規事業

- アップセル、クロスセルにつながる投資
- 付加価値を高める投資



株主還元

当社は、2020年9月に、創立20周年を迎えました。
これもひとえに、当社の株主様、お客様、これまでお力添えをいただいた多くの皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。



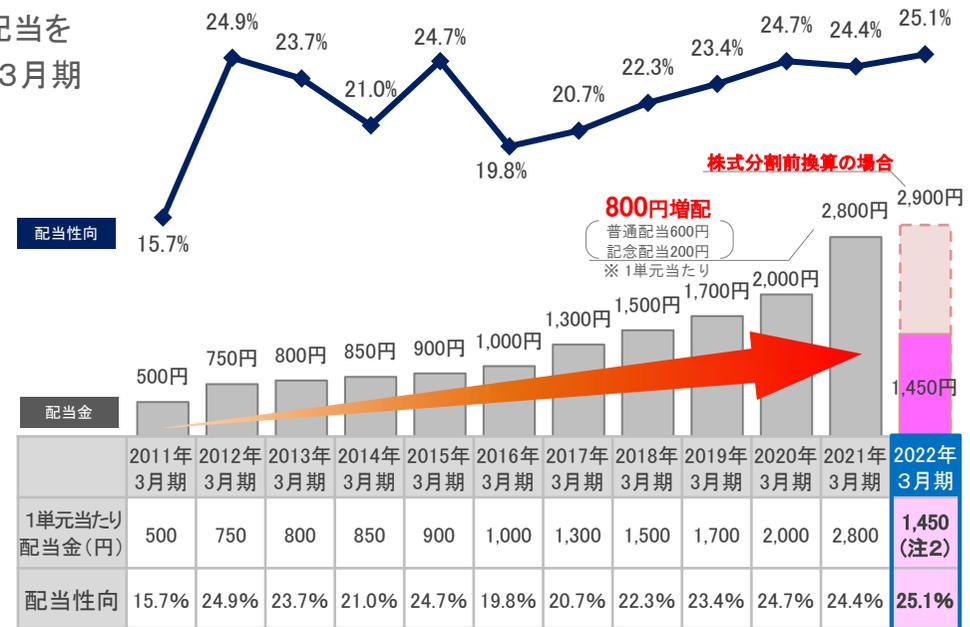
株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表するとともに、創立20周年を記念いたしまして、2021年3月期の期末配当におきまして、1単元当たり200円(1株当たり2.0円)の記念配当を実施させていただくことといたしました。

これにより、2021年3月期の期末配当予想は、普通配当と記念配当を合わせた、1単元当たり2,800円(1株当たり28.0円)となり、2020年3月期実績より800円(1株当たり8.0円)増額となる予定です。

また、当社は2021年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割いたしました。

株式分割後の、2022年3月期の配当予想は、1単元当たり1,450円(1株当たり14.5円)を予定しており、株式分割前で換算すると、1単元当たり2,900円(1株当たり29.0円)となり、2011年3月期の初配当依頼、11期連続の増配予定となります。

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、今後も継続かつ安定的な配当の実施を目指します。当長期ビジョン中に配当性向30%を目標としておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化、または想定以上に深刻化した場合に備え、継続かつ安定的な配当の実施を優先したうえで、不測の事態に備えるために、十分な手許現金の確保や内部留保も検討してまいります。



(注1) 1単元 = 100株

(注2) 当社は、2021年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期の予想につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

記念株主優待と株主優待制度の一部変更

当社は、2020年9月に創立20周年を迎えたことを記念いたしまして、2021年3月期の期末配当で、1株当たり2.0円(1単元当たり200円)の記念配当の実施に加え、創立20周年記念株主優待を実施させていただくことといたしました。



おかげさまで20周年

① 対象となる株主様

2021年9月30日時点の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、当社株式を6ヶ月以上継続して保有(※)されており、かつ、300株(3単元)以上の当社株式を保有する株主様。

(※)「6ヶ月以上継続して保有」されているかどうかは、2021年9月末日現在の株主名簿に同じ株主番号で連続して2回以上記載または記録されていることをもって判断いたします。

② 記念株主優待の内容

クオ・カード3,000円

(注)対象となる株主様には、2021年度の株主優待の実施に限り、現行の株主優待に加えて記念株主優待を実施いたします。

また、当社は2021年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割いたしました。これに伴い、株主優待制度を一部変更いたしました。(下表下線)

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、当社株式を6ヶ月以上保有されており、かつ、300株(3単元)以上の当社株式を保有する株主様を対象に、好きな商品または寄付を1点お選びいただく株主優待となっております。優待商品につきましては、当社にゆかりのある地域をテーマとした食材、当社オリジナル商品がございます。

所有 株式数	保有期間			
	6ヶ月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上
<u>新設</u> 300株以上	当社指定商品	<u>新設</u> 当社指定商品		
<u>600株以上</u>		1,500円相当	2,000円相当	2,000円相当
<u>1,000株以上</u>		2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
<u>2,000株以上</u>		3,000円相当	4,000円相当	5,000円相当

第21回 定時株主総会

2021年6月24日に第21回定時株主総会を開催いたします。

本年も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、株主総会の様子をWEB配信いたします。当日のご来場は、出来る限りお控えいただきますようお願い申し上げます。

- ※ ご来場をお控えいただいた株主様からのご質問は、事前にお預かりさせていただき、当日に可能な範囲で説明させていただきます。
- ※ ご来場を希望される場合には事前登録が必要となります。
- ※ ご来場いただいた株主様へのお土産は、本年も中止とさせていただきます。
- ※ 詳細は招集通知をご覧ください。

リスモンちゃんねる 配信

インターネットで閲覧できる「リスモンちゃんねる」で当社のIR動画を配信しております。

当社独自の調査「リスモン調べ」では、新型コロナウイルス感染症の影響に関する調査結果や、新しい働き方に関する調査結果を動画で配信しております。

また、2021年4月より、ソーシャルワーカーから「信用とはなにか？」を語っていただくインタビューシリーズ「リスモン信用研究所」を始めました。



IR動画



リスモンちゃんねる 2020冬 撮影の様子



PR動画 (リスモン調べ)



リスモン信用研究所 第一弾
緩和ケア専門医宇井睦人先生のインタビュー



緊急事態宣言に関する意識

お問い合わせ先

IRに関するお問い合わせ

(IR専用ダイヤル)

TEL : 03-6214-0352
FAX : 03-6214-0431
Mail : ir@riskmonster.co.jp

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、経済環境の変化や提供するサービスの動向等の様々な要因により将来の見通し等と異なる場合があります。



【会社名】

リスクモンスター株式会社
<https://www.riskmonster.co.jp>

【所在地】

東京都中央区日本橋2-16-5
RMGビル

【連結子会社】

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社
<https://www.j-motto.co.jp>
リスモン・マッスル・データ株式会社
日本アウトソース株式会社
<https://www.outsource.co.jp>
サイバックス株式会社
<https://www.cybaxuniv.jp>
利墨(上海)商務信息咨询有限公司
<https://www.rismon.com.cn>

■ 見舞金共済の支払限度額を3倍の90万円に拡大

2020年4月10日、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、新型コロナウイルスの影響により取引先の倒産リスクが増加していることを受け、『リスクモンスター見舞金共済』（以下、見舞金共済）の支払限度額を最大3口（90万円）に引き上げることにいたしました。

当社では2020年3月に「新型コロナウイルスによる影響アンケート」（リスモン調べ）を独自に実施し、その結果、特に卸・小売業やサービス業について、倒産リスクの増加を懸念されていることが明らかとなりました。

信用リスクの保証引受額を拡大することで、会員企業様の債権保全を支援するため、見舞金共済をリニューアルいたしました。

■ 特長

見舞金共済は2019年12月より開始し、「e-管理ファイル」に2カ月以上モニタリング登録を継続している企業のうち、E格、F格企業が法的倒産となった場合、共済金をお支払いするサービスです。

これまで1口（支払限度額30万円）が申込上限でしたが、信用リスクの増加に対応し3口までお申込みすることができるようになりました。

引き続きE、F格付で倒産した企業が見舞金の対象となります。

■ 変更内容

	変更前	変更後
掛金	モニタリング登録件数により変動 ※100 件まで 月額10,000 円(固定) ※101 件以上 月額100 円/件	モニタリング登録件数により変動 最大3口までお申し込み可能 ※100 件まで 月額10,000 円(固定) ※101 件以上 月額100 円/件
共済金	RM格付 E格・F格の企業の倒産の場合 実際の損害金額にかかわらず 一律30 万円	RM格付 E格・F格の企業の倒産の場合 30 万円 × 口数 ※但し、実際の損害金額を超えないこととする。
1 共済会員の 年間支払限度額	150 万円	200万円

■ 反社リスクの所在を見える化

2020年6月21日、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、従来のe-与信ナビ(反社ワード記事検索)にて「反社ヒートマップ(ベータ版)」の提供を開始いたしました。

「反社ヒートマップ」は、e-与信ナビ対象企業の商号・代表者等を当社が独自に収集したコンプライアンス関連情報から自動検索し、反社会的勢力関連のコンプライアンスリスクの所在をヒートマップ形式で表示するサービスです。

従来から提供中の「反社ワード記事検索」結果と併せて活用することで、取引先に対する反社関連リスクをより広範囲に捉えることができ、与信判断の強化にお役立ていただけます。

■ 特長

リスクの所在が色で明確に。

反社ヒートマップは、4つの情報区分(反社警戒、事件事故、裁判情報、行政処分)と4つの法人・個人区分(商号、代表者、役員、グループ)に分かれており、4×4の16マスで表示します。

各マスは、検索結果に対して情報の重要性和該当件数を基に5色で表示され、リスクが高まるにつれて濃い色で表示されます。ヒートマップ上で色が付いたマスをクリックすると当該マスの情報が表示され、詳細情報を確認することができます。

反社ヒートマップをご利用いただくためには、「反社ワード記事検索」を取得する必要があります。現時点において本サービスはベータ版のため無料提供としております。現在データベース拡充に努めており、完全版リリースに伴い価格改定する予定です。

■ イメージ図



■ 決算書AI-OCR開発で精度向上

2020年9月20日、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、「決算書分析システム」サービスにて、決算書AI-OCRを用いて、決算書データを高い精度で「決算書分析システム」に自動登録しRM財務格付を確認できる新機能の提供を開始いたしました。「決算書分析システム」は、当社が2000年の設立以来、蓄積してきた倒産分析のノウハウを基に、財務分析に特化した与信判断ツールです。取引先より入手した決算書を分析できていない、外部指標がない企業の判断に困っている、などの課題解決にお役立ていただけます。

この度の決算書AI-OCRにより、決算書データの登録が手間をかけることなく行えるため、決算書分析をより効率的に実施でき、よりの確な与信判断を行うことができるようになります。

■ 特長

決算書AI-OCR

与信管理のために入手する決算書の多くは、紙媒体をスキャンするため、その画像は粗く、傾いたデータになりやすいという課題がありました。また入手する決算書のフォーマットも各社異なるため、従来のOCR技術では柔軟に読み取れませんでした。そこで、独自に決算書AI-OCRを開発し、決算書データを高い精度で読み取り、「決算書分析システム」に自動登録できるように改良しました。

決算書分析システム

- (1) 審査会社の財務分析ノウハウを活用できます。
自社保有の決算書をアップロードすることで、決算情報が「決算書分析システム」に登録されます。登録された決算データを基に「財務分析」を瞬時に実施し、「独自の与信管理指標(RM財務格付)」をご提供します。
- (2) 様々な決算書の形式を簡単に統一化できます。
入手した決算書毎の勘定科目を、自社の基準で変換し、統一したフォーマットに整えて保存することが可能です。

■ イメージ図



■ J-MOTTOグループウェア「AppSuite(アップスイート)」提供開始

2020年4月1日、グループウェアサービス「J-MOTTO(ジェイモット)」を展開するリスモン・ビジネス・ポータル株式会社は、J-MOTTOグループウェアの有料オプション「AppSuite」を提供開始いたしました。

AppSuiteは、紙・メール・Excel主体で行われている非効率な社内業務を4ステップで簡単にシステム化できる、業務アプリ作成ツールです。既存のテンプレートから目的に合ったアプリを選択。特別なITの知識を用いずに、アプリをカスタマイズして作成することができます。

■ 特長

AppSuiteで現場主導の働き方改革を

AppSuiteは、紙・メール・Excelで行われている様々な業務処理を誰でも簡単にWebシステム化できるツールです。AppSuiteで現場主導の業務改善を実現できます。

グループウェア+AppSuiteで、企業のIT化を更に促進

AppSuiteは、グループウェア上で動作し、作成したアプリはグループウェアの一機能としてご利用いただけます。スケジュールや掲示板、ドキュメント管理はグループウェアの標準25機能を活用、営業日報や現場の業務処理、台帳管理は、AppSuiteで実現できます。

基本提供テンプレート

すぐにご利用いただけるテンプレートを8種類ご用意しています。

(例)見積書
見積書を作成、管理します。顧客情報、製品情報はそれぞれ別のアプリでデータベースとして登録し、見積書アプリ内で使用します。



■ J-MOTTOグループウェア SAML認証によるシングルサインオンに対応

2021年3月31日、グループウェアサービス「J-MOTTO(ジェイモット)」を展開するリスモン・ビジネス・ポータル株式会社は、J-MOTTOグループウェアのAzure Active Directory (Office365) のSAML認証に対応いたしました。

本対応によりOffice365をご利用のお客様は、グループウェアへログインする際に「会員ID」「ユーザーID」「パスワード」の入力が不要となります。

■ 特長



Office365をご利用のお客様は、SAML認証の設定を行うことで、簡単にグループウェアにログインすることが出来ます。



グループウェアのスケジュール・設備予約に登録されたデータとOffice 365上のOutlook (Exchange Online) の予定表に登録されたデータを双方向に同期し、相互運用性を大きく高めることができます。

■ 創業20周年記念 特設サイト開設 サービスサイトリニューアル

2020年12月をもちまして、当社は、与信管理の業界でASPサービスという新しい形態で独自の信用格付を生み出してから、20周年を迎えました。リスクモンスターグループのサービスをご利用頂いている会員様、これまでお力添えをいただいた多くの皆様に心より御礼申し上げます。

創業20周年を記念し、特設サイトの開設と、独自データベースを活用したサービスサイトへリニューアルをいたしました。「信用を判断するだけでなく、信用を生み出すことができる」サービスを目指し、会員の皆様の与信管理強化と業務効率化に貢献できるよう、より一層、サービスの充実と改善に努めてまいります。

これからも、変わらぬご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



リスクモンスター20周年記念特設サイト
<https://www.riskmonster.co.jp/anniversary/>



サービスサイト ログイン画面



サービスサイト トップページ